

日本機械学会 関東支部シニア会 2019 年度総会開催報告

- (1)日時：2020 年 1 月 15 日（水） 総会 15：00～16：00
特別講演会 16：10～17：20
懇親会 17：30～19：00
- (2)場所：東京理科大学 森戸記念館 第 1 フォーラム（総会・特別講演会）
第 1 会議室（懇親会）
- (3)参加者 総会 40 名 委任状 84 名（会員数の過半数を超えており、総会成立）
特別講演会・懇親会 42 名（関東支部長、講師含む）
- (4)議事

・定足数確認

司会の本阿弥顧問より出席者と委任状を合わせて会員数の過半数を超えており、総会が成立した旨の報告があった。

・関東支部支部長挨拶

日本機械学会関東支部河合支部長より開会の挨拶があった。

・2019 年度の事業報告と決算報告

村上会長より 2019 年度の活動報告と決算報告があり、承認された。これまで国立科学博物館が夏休みに行っていた子供向け行事の開催がなくなり、シニア会で予定していたロボット製作も中止となった。代替行事を考えたが準備期間が短く、今年度の子供向け行事は見送りとした。

・2020 年度の体制と事業計画案

中山顧問より 2020 年度の運営体制、事業計画、予算案の報告があり、承認された。2020 年度はシニア会員が講師となって講演する交流会を 2 回開催する計画である。

・特別講演会

講演題目：「関節，バナナ，生命の科学 -科学技術、価値観の再考-」

講演者：北里大学 馬淵 清資 名誉教授

講演概要：

人工関節の潤滑研究など医療工学からスタートし、関節の潤滑機構からバナナの皮がなぜすべるのか、を科学的に解明された経緯などをユーモアたっぷりに解説いただいた。さらに、科学技術と精神的・文化的価値観、科学技術の未来展望まで熱弁を奮っていただいた。

・懇親会

講演終了後、会場を移して懇親会を開催した。講師の馬淵先生、河合支部長も参加いただき、会員相互の懇親を深めることができた。



ご挨拶される河合支部長



特別講演中の馬淵先生



懇親会の様子

(文責 東京理科大学 野口昭治)